

弥右衛門ふれあいセンタートイレ改修機械設備工事

図 面 目 録

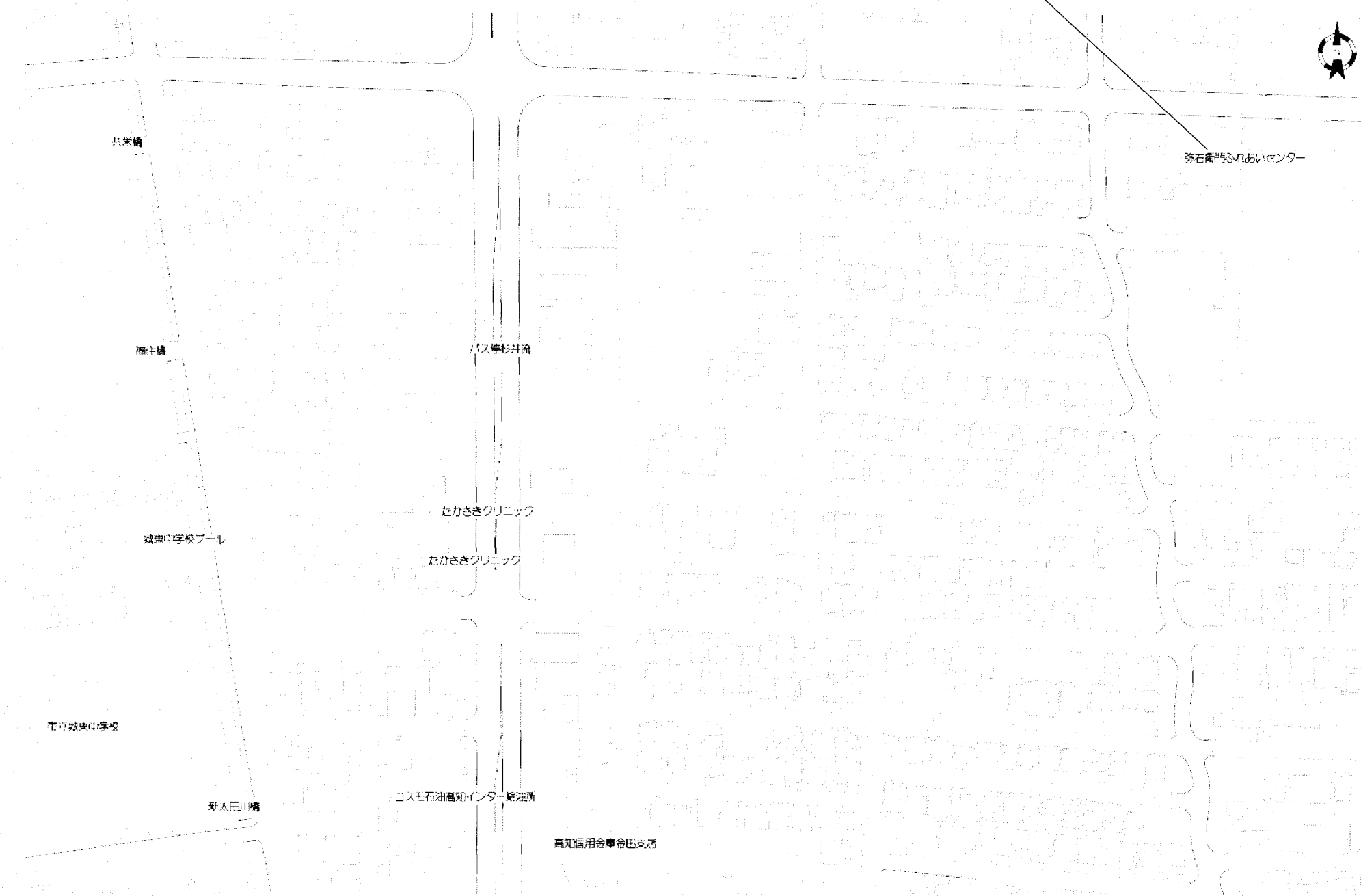
図面番号	図面名称
M - 00	表紙
M - 01	特記仕様書(1)
M - 02	特記仕様書(2)
M - 03	附近見取図・位置図
M - 04	1階平面図(改修前・改修後)

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																					
機械設備特記事項																																																																																																										
1 標識その他	※ 配管表記 (1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠] a) 機械室・ピット・PS内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。 b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 c) 配管の識別は、原則としてJIS Z 9102によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。 ※ 機器表記 (該当する主要機器は事前に確認する。) a) 設計記号の付いている主要機器には、カッピングシート等にて表記 (管理番号・室名・設置年月等) を行う。 b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。 c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板 (製造社名・製造年月・型番・性能等) を盤付近にも設ける。 ※ 弁には、開閉等を記入したアクリル札を取付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。 ※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を裏したアクリル札を入れる。 ※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設管を設ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、GL-150mm程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。	① メカニカル継手 12 吊り及び支持	※ メカニカル継手は伸縮可とう・難燃防止性能を有し、内外面エポキシ粉体塗装を施したものである。 ※ 改修工事等で銅管類 (ライニング銅管) を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、JAWWA K 135規格適合品にて処置する。 ※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。 (2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠]	24 樹	b) 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は、直前に水質検査 (BOD・SS・PH・大腸菌・塩素イオン) を行い、そのコピーを管理業者、施設管理者、監督職員に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ※ 見えやすい場所に、型式・施工者名・設置年月・処理能力・放流水質を記入した銘板を設置する。																																																																																																					
② 総合調整	本工事に該当する工事項目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。 a) 風量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内外空気の温湿度の測定 d) 騒音の測定 e) 室内気流及びじんあいの測定 f) 飲料水の水質の測定 なお、季節により運転条件が異なる。使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。 (2.1.3.3準拠) [2.1.3.3準拠]	13 埋設管の保護	※ 国土交通省仕様どおり吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。 ※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、フック等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。 ※ 契約水量までの埋設給水管及び埋設消火管は管の周囲100mm程度に保護砂を入れる。 ※ 契約水量を以て埋設給水管及び埋設消火管は簡易保温節で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管の耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻立て、外圧に対して管きよを保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説準拠]	25 防振施工	※ 機器の振動が建物に影響を及ぼすおそれのあるものは、適切な防振措置を施す。 ※ 電動機等により振動を生じる機器及び配管の固定部にはダブルナットやストップボルト等により締め、脱落防止措置を施す。ナットは、アイマークにより締付けが確認できるようにし、ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 [公共建築設備工事標準準拠 (機械設備工事編) 準拠]																																																																																																					
③ 配管材料	配管の種類 <table border="1"><thead><tr><th>場所</th><th>屋内露出</th><th>天井PS内</th><th>床下暗渠内</th><th>屋外露出</th><th>屋外埋設</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>給水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>排水・通気</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>125A以上はVU</td></tr><tr><td>給湯</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>消火</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>ガス</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>冷媒</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>機器ドレン</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>冷温水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>冷却水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td></td></tr></tbody></table> (1) 配管用炭素鋼管 (SGP黒管・JIS G 3452) (2) 配管用炭素鋼管 (SGP白管・JIS G 3452) (3) 水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VB・JAWWA K 116) (4) 水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VD・JAWWA K 116) (5) 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 (SGP-HVA・JAWWA K 140) (6) 消火用硬質塩化ビニル管 (SGP-VS・WSP 041) (7) 排水用硬質塩化ビニル管 (D-VA・WSP 042) (8) 配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TP-A・JIS G 3459) (9) 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TPD・JIS G 3448) (10) 断熱材被覆鋼管 (JCDA 0009) (11) 水道用架橋用樹脂管 (JIS G 6787) (12) 水道用樹脂二層管 (JIS G 6762) (13) 耐火二層管 (内管VP) (14) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP・JIS K 6742) (15) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP-VU・JIS K 6741) (16) 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP・JIS K 6742) (17) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HT・JIS K 6776) (18) 水道配水用樹脂管 (JAWWA K 144) ・建築設備用高密度樹脂管 (19) 消火用樹脂管 (20) ガス用硬質塩化ビニル管 (外被覆鋼管) (21) ガス用樹脂管 (JIS K 6774) (22) 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (23) 保温材付空調用ドレン管 (JIS G 8430準拠・JIS K 6741)	場所	屋内露出	天井PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考	給水	○	○	○	○	○		排水・通気	○	○	○	○	○	125A以上はVU	給湯	○	○	○	○	○		消火	○	○	○	○	○		ガス	○	○	○	○	○		冷媒	○	○	○	○	-		機器ドレン	○	○	○	○	○		冷温水	○	○	○	○	-		冷却水	○	○	○	○	-		14 埋設深さ	管の地中埋設深さは、原則として車道道路では管の上端より600mm以上、それ以外では300mm以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 (2.2.7.2) [2.2.5.2]	15 防食措置	※ 鋼管、給管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 (2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠] ※ 地中に埋設する鋼鉄管・鋼鉄異形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。 (給水装置工事施工要領)	26 転倒・落下・傾き防止	※ 床又は壁に設置の機器で重量が大きく重心位置が比較的高い機器については転倒防止措置を施す。 ※ 天吊り機器には振止め用形鋼架台や材料を用いる等して落下・傾き防止措置を適切に施す。 ※ 天吊り機器と吊り金物との接続箇所等に防振装置を設ける。 [建築設備検査資格者講習テキスト準拠]																													
場所	屋内露出	天井PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考																																																																																																				
給水	○	○	○	○	○																																																																																																					
排水・通気	○	○	○	○	○	125A以上はVU																																																																																																				
給湯	○	○	○	○	○																																																																																																					
消火	○	○	○	○	○																																																																																																					
ガス	○	○	○	○	○																																																																																																					
冷媒	○	○	○	○	-																																																																																																					
機器ドレン	○	○	○	○	○																																																																																																					
冷温水	○	○	○	○	-																																																																																																					
冷却水	○	○	○	○	-																																																																																																					
④ 配管付属品	弁の使用区分 <table border="1"><thead><tr><th>系統名</th><th>弁名称</th><th>寸法区分</th><th>規格</th><th>材質</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">給水</td><td>ボール弁</td><td>50A以下</td><td>青銅・管溝防食</td><td>・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td></tr><tr><td>パタフライ弁</td><td>65A以上</td><td>ライニング</td><td>・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td></tr><tr><td rowspan="2">給湯</td><td>ボール弁</td><td>50A以下</td><td>青銅・管溝防食</td><td>・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td></tr><tr><td>パタフライ弁</td><td>65A以上</td><td>SUS</td><td>・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td></tr><tr><td>冷温水</td><td>玉形弁</td><td>50A以下</td><td>青銅・管溝防食</td><td>・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td></tr><tr><td>冷却水</td><td>パタフライ弁</td><td>65A以上</td><td>ライニング</td><td>・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td></tr></tbody></table> 設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.2.1準拠) [2.2.1.1準拠]	系統名	弁名称	寸法区分	規格	材質	給水	ボール弁	50A以下	青銅・管溝防食	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	パタフライ弁	65A以上	ライニング	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	給湯	ボール弁	50A以下	青銅・管溝防食	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	パタフライ弁	65A以上	SUS	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	冷温水	玉形弁	50A以下	青銅・管溝防食	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	冷却水	パタフライ弁	65A以上	ライニング	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	16 保温工事	保温の種類 <table border="1"><thead><tr><th>場所</th><th>屋内露出</th><th>機械室・倉庫</th><th>天井・PS内</th><th>床下暗渠内</th><th>屋外露出</th><th>屋外埋設</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>給水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>排水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>屋内空調用ドレン管は保温材付き</td></tr><tr><td>給湯</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>冷媒</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>断熱材被覆鋼管の場合</td></tr><tr><td>矩形ダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>丸形ダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>弁・継手類</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>保温材の厚さは各工種に準拠</td></tr></tbody></table> (i) ロックウール保温材 (o) グラスウール保温材 (n) ポリスチレンフォーム保温材 (二) 簡易保温節100mm (k) 簡易保温節200mm (x) 簡易耐熱保温節100mm (t) 簡易耐熱保温節200mm 設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]	場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考	給水	○	○	○	○	○	○		排水	○	○	○	○	○	○	屋内空調用ドレン管は保温材付き	給湯	○	○	○	○	○	○		冷媒	○	○	○	○	○	○	断熱材被覆鋼管の場合	矩形ダクト	○	○	○	○	○	○		丸形ダクト	○	○	○	○	○	○		弁・継手類	○	○	○	○	○	○	保温材の厚さは各工種に準拠	17 塗装	亜鉛鍍金面の塗装下地は化学処理 (エッチングプライマ) を施す。 (2.3.2.1) [2.3.2.1]	18 はつり工事	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 [2.4.1.3]	27 特定天井への対応	天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。
系統名	弁名称	寸法区分	規格	材質																																																																																																						
給水	ボール弁	50A以下	青銅・管溝防食	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																						
	パタフライ弁	65A以上	ライニング	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																						
給湯	ボール弁	50A以下	青銅・管溝防食	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																						
	パタフライ弁	65A以上	SUS	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																						
冷温水	玉形弁	50A以下	青銅・管溝防食	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																						
冷却水	パタフライ弁	65A以上	ライニング	・5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																						
場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考																																																																																																			
給水	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
排水	○	○	○	○	○	○	屋内空調用ドレン管は保温材付き																																																																																																			
給湯	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
冷媒	○	○	○	○	○	○	断熱材被覆鋼管の場合																																																																																																			
矩形ダクト	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
丸形ダクト	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
弁・継手類	○	○	○	○	○	○	保温材の厚さは各工種に準拠																																																																																																			
5 スリーブ	国土交通省仕様とする。ただし、水密を要する部分は配管用ステンレス鋼管及び水密張性ゴムリングを用いる。 (2.2.2.2準拠)	19 非破壊検査	はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所以外探査器により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 [2.4.1.1]	28 耐震施工	設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 (2014年版)」及び建設大臣官庁官庁構部監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説 (平成8年版)」による。局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置階により選定する。100kg以上の機器に適用し、それ以下の機器については監督職員と協議する。 給湯設備の転倒防止措置は、建築基準法施行令第129条の2の7第2号及び同令に基づく告示 (平成24年国土交通省告示第1447号) の定めによる。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。	29 別途工事	・スリーブ及び箱入れの補強筋 ・床点検口 ・洗面化粧台水栓及び排水金物 ・レンジフードファン ・化粧鏡 (多機能便所) ・コンクリート基礎 (室内機・受水槽・ポンプ庫) ・窓枠アルミパネル ・天井点検口 ・キッチン台水栓及び排水金物 ・シャワーユニット水栓及び排水金物 ・化粧鏡 (一般便所) ・給湯機器及び空調機器のリモコン配線用配管																																																																																																			
6 支持材料	※ 1階土間コンクリート下部配管は、ステンレス製吊りボルトにてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・形鋼振止め金物・吊り金物・インサート金物・アンカーボルトはステンレス製とする。 ※ 形鋼振止め支持部材の選定は、公共建築設備工事標準準拠 (機械設備工事編) に準ずるものとし、既製品は使用しない。 ※ 冷媒管の吊り用支持受け材として、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に保護プレートを設置する。	20 あと施工アンカー	新設工事においては、原則としてあと施工アンカーは使用しない。 [2.5.1.3] 使用する場合には、工事の着手前に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。	30 支給品	設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]	メーカーリスト <table border="1"><thead><tr><th>機材名</th><th>メーカー名</th></tr></thead><tbody><tr><td>衛生陶器</td><td>TOTO, LIXIL</td></tr><tr><td>水栓金具類</td><td>TOTO, LIXIL, 三栄水栓</td></tr><tr><td>FRP水櫃</td><td>三菱樹脂, 日立化成, 積水, プリチストン</td></tr><tr><td>うず巻ポンプ</td><td>荏原, 日立, テラル, 川本</td></tr><tr><td>水中モーターポンプ</td><td>荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見</td></tr><tr><td>汚水・汚物ポンプ</td><td>荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見, 新明和</td></tr><tr><td>電気温水器</td><td>三菱電機, ユパック, 日本電熱, パナソニック, 三菱, 日立</td></tr><tr><td>厨房機器</td><td>日本調理, フジマック, 北沢, ホシザキ四国, タニコー, マルゼン</td></tr><tr><td>小室鋼板ボイラー</td><td>巴, 昭和, 愛知, ネボン, ヒラカワ</td></tr><tr><td>FRP膨張水櫃</td><td>三菱樹脂, 日立化成, ホーコス</td></tr><tr><td>ルームエアコン</td><td>ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア</td></tr><tr><td>パッケージエアコン</td><td>ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア</td></tr><tr><td>冷水発生機</td><td>矢崎, 日立, 荏原, 川重, 三菱重工</td></tr><tr><td>エアハンドリングユニット</td><td>新晃, ダイキン, 三菱, 昭和, パナソニック, 日立, 木村, 日本キャリア, 三菱重工</td></tr><tr><td>送風機</td><td>テラル, 荏原, パナソニック, 谷山, ミツヤ, 旭電業</td></tr><tr><td>冷却塔</td><td>矢崎, 日立, 荏原シンワ, 空研, 日本スピンドル</td></tr><tr><td>自動制御機器</td><td>アズビル, ジョンソンコントロールズ</td></tr><tr><td>ロールフィルタ</td><td>日本スピンドル, 東洋空気調和, 日本エアフィルタ</td></tr><tr><td>全熱交換形換気扇</td><td>三菱, パナソニック, テラル, 日本キャリア, 日立, ダイキン</td></tr><tr><td>その他</td><td>国土交通省仕様適合品</td></tr></tbody></table>	機材名	メーカー名	衛生陶器	TOTO, LIXIL	水栓金具類	TOTO, LIXIL, 三栄水栓	FRP水櫃	三菱樹脂, 日立化成, 積水, プリチストン	うず巻ポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本	水中モーターポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見	汚水・汚物ポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見, 新明和	電気温水器	三菱電機, ユパック, 日本電熱, パナソニック, 三菱, 日立	厨房機器	日本調理, フジマック, 北沢, ホシザキ四国, タニコー, マルゼン	小室鋼板ボイラー	巴, 昭和, 愛知, ネボン, ヒラカワ	FRP膨張水櫃	三菱樹脂, 日立化成, ホーコス	ルームエアコン	ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア	パッケージエアコン	ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア	冷水発生機	矢崎, 日立, 荏原, 川重, 三菱重工	エアハンドリングユニット	新晃, ダイキン, 三菱, 昭和, パナソニック, 日立, 木村, 日本キャリア, 三菱重工	送風機	テラル, 荏原, パナソニック, 谷山, ミツヤ, 旭電業	冷却塔	矢崎, 日立, 荏原シンワ, 空研, 日本スピンドル	自動制御機器	アズビル, ジョンソンコントロールズ	ロールフィルタ	日本スピンドル, 東洋空気調和, 日本エアフィルタ	全熱交換形換気扇	三菱, パナソニック, テラル, 日本キャリア, 日立, ダイキン	その他	国土交通省仕様適合品	打合せ事項 <table border="1"><thead><tr><th>官公庁等名</th><th>打合せ日時</th><th>令和</th><th>年</th><th>月</th><th>日</th></tr></thead><tbody><tr><td>打合せ事項</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>官公庁等名</th><th>打合せ日時</th><th>令和</th><th>年</th><th>月</th><th>日</th></tr><tr><td>打合せ事項</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>官公庁等名</th><th>打合せ日時</th><th>令和</th><th>年</th><th>月</th><th>日</th></tr><tr><td>打合せ事項</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	官公庁等名	打合せ日時	令和	年	月	日	打合せ事項						官公庁等名	打合せ日時	令和	年	月	日	打合せ事項						官公庁等名	打合せ日時	令和	年	月	日	打合せ事項																										
機材名	メーカー名																																																																																																									
衛生陶器	TOTO, LIXIL																																																																																																									
水栓金具類	TOTO, LIXIL, 三栄水栓																																																																																																									
FRP水櫃	三菱樹脂, 日立化成, 積水, プリチストン																																																																																																									
うず巻ポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本																																																																																																									
水中モーターポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見																																																																																																									
汚水・汚物ポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見, 新明和																																																																																																									
電気温水器	三菱電機, ユパック, 日本電熱, パナソニック, 三菱, 日立																																																																																																									
厨房機器	日本調理, フジマック, 北沢, ホシザキ四国, タニコー, マルゼン																																																																																																									
小室鋼板ボイラー	巴, 昭和, 愛知, ネボン, ヒラカワ																																																																																																									
FRP膨張水櫃	三菱樹脂, 日立化成, ホーコス																																																																																																									
ルームエアコン	ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア																																																																																																									
パッケージエアコン	ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア																																																																																																									
冷水発生機	矢崎, 日立, 荏原, 川重, 三菱重工																																																																																																									
エアハンドリングユニット	新晃, ダイキン, 三菱, 昭和, パナソニック, 日立, 木村, 日本キャリア, 三菱重工																																																																																																									
送風機	テラル, 荏原, パナソニック, 谷山, ミツヤ, 旭電業																																																																																																									
冷却塔	矢崎, 日立, 荏原シンワ, 空研, 日本スピンドル																																																																																																									
自動制御機器	アズビル, ジョンソンコントロールズ																																																																																																									
ロールフィルタ	日本スピンドル, 東洋空気調和, 日本エアフィルタ																																																																																																									
全熱交換形換気扇	三菱, パナソニック, テラル, 日本キャリア, 日立, ダイキン																																																																																																									
その他	国土交通省仕様適合品																																																																																																									
官公庁等名	打合せ日時	令和	年	月	日																																																																																																					
打合せ事項																																																																																																										
官公庁等名	打合せ日時	令和	年	月	日																																																																																																					
打合せ事項																																																																																																										
官公庁等名	打合せ日時	令和	年	月	日																																																																																																					
打合せ事項																																																																																																										
7 さや管工法	さや管ヘッダー工法で施工する場合、さや管施工後に配管挿入を行い、同時施工しない。	21 パッケージ形空調機	機器仕様 a) グリーン購入法調達基準適合品とし、各メーカーの最高効率機種とする。 b) 室外機仕様 ・JRA耐震増強仕様 ・耐震仕様 ・防振架台 ・転倒防止金物 ・高調波対策仕様 c) 室内機仕様 ・ドレンアップメカ ・自動昇降パネル ・防振装置 ・振止め金物 工事仕様 a) ドレンアップメカにより排水する場合は、機器直近にて鳥居状に配管し、立下り部直上に排出口を設ける。 b) 配管化粧カバーは、エンドキャップを使用しテープ巻きを最小限とし、ジャバラ部材は使用しない。 c) 配管化粧カバー・配管ラッキングは室外機の直近まで施す。 d) 室内機及び室外機への電源送りは電気設備工事とし、室外機間の送り電気配線及び室外機-室内機間の電気配線 (アース含む) は配管、配線共本工事とする。送り配線で、冷媒配管と同じルートで施工する場合は同配管外装に納める。	打合せ事項																																																																																																						
8 変位吸収配管施工	※ 建築物導入部及びエキスパンションジョイント部は、フレキシブルジョイント等を使用した方法で施工する。 ※ 埋設管の屋内外接続部は、地盤沈下等の変位に対して可とう継手、伸縮可とう継手を設ける等の措置を講じる。 設計図面に個別の記載がない場合は、伸縮継手、自在継手を使用してもよい。 ※ 埋設管と露出配管の切替部 (配管立ち上がり部) に伸縮継手を設ける。 [給水装置工事施工要領準拠] [下水道排水設備指針と解説準拠]	22 ダクト及びダクト付属品	空調ダクト材料 ※ 亜鉛鉄板製 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ステンレス製 換気ダクト材料 ※ 亜鉛鉄板製 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ステンレス製 屋外フード ウェザーカバーはステンレス製・給排気形・水切り付きとし、バンドキャップはステンレス製・深型・水切り付きとする。 原則として、換気用には防鳥網、給気用には防虫網を設ける。	打合せ事項																																																																																																						
9 フランジ接合	※ 屋外及びピット内のフランジ接合材は、ステンレス製とし焼付防止処理を施す。 ※ 異種管のフランジ接合は、絶縁スリーブ、絶縁ワッシャー等による絶縁フランジ接合とする。	23 合併処理浄化槽	・浄化槽の使用開始後概ね3ヶ月間の試運転調整を行う。浄化槽法による「保守点検及び清掃等」のほか下記の事項による。 a) 最低限の点検回数は、小型・沈殿分離方式は月に1回、流量調整槽のある場合は2週に1回とする。	打合せ事項																																																																																																						
10 融着接合	ポリエチレン管融着接合作業における技能者は、十分な経験と技能を有するものとする。																																																																																																									

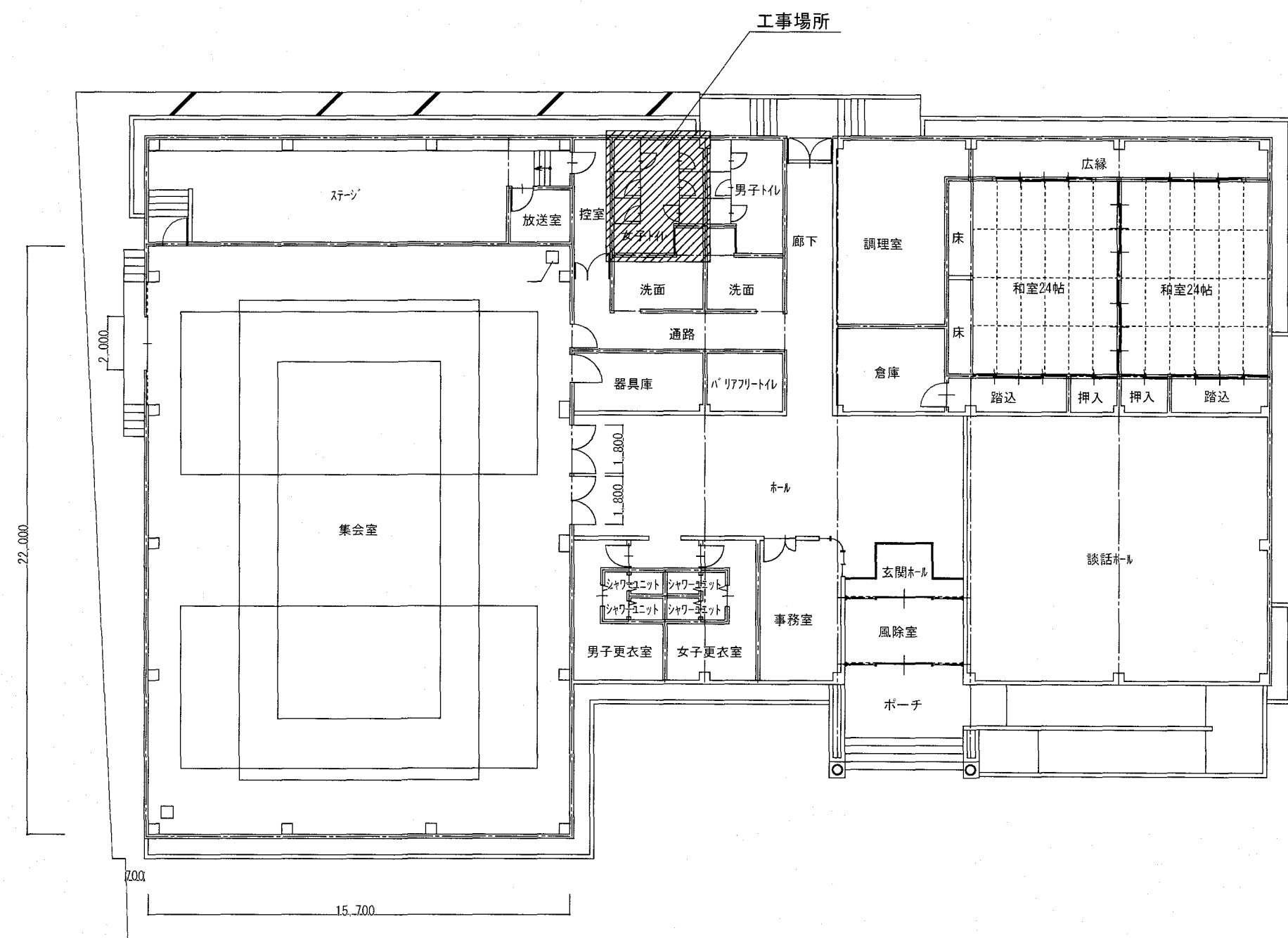
高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名	係	係 長	課長補佐	課 長	図 面 番 号
弥右衛門ふれあいセンタートイレ改修機械設備工事	岡本	戸田	中村	村松	M-02
図 面 名	特記仕様書 (2)	更新日	2023.7.1	作 図	2024 年 11 月 日

工事場所：弥右衛門ふれあいセンター
高知市北御座2番60号



附近見取図



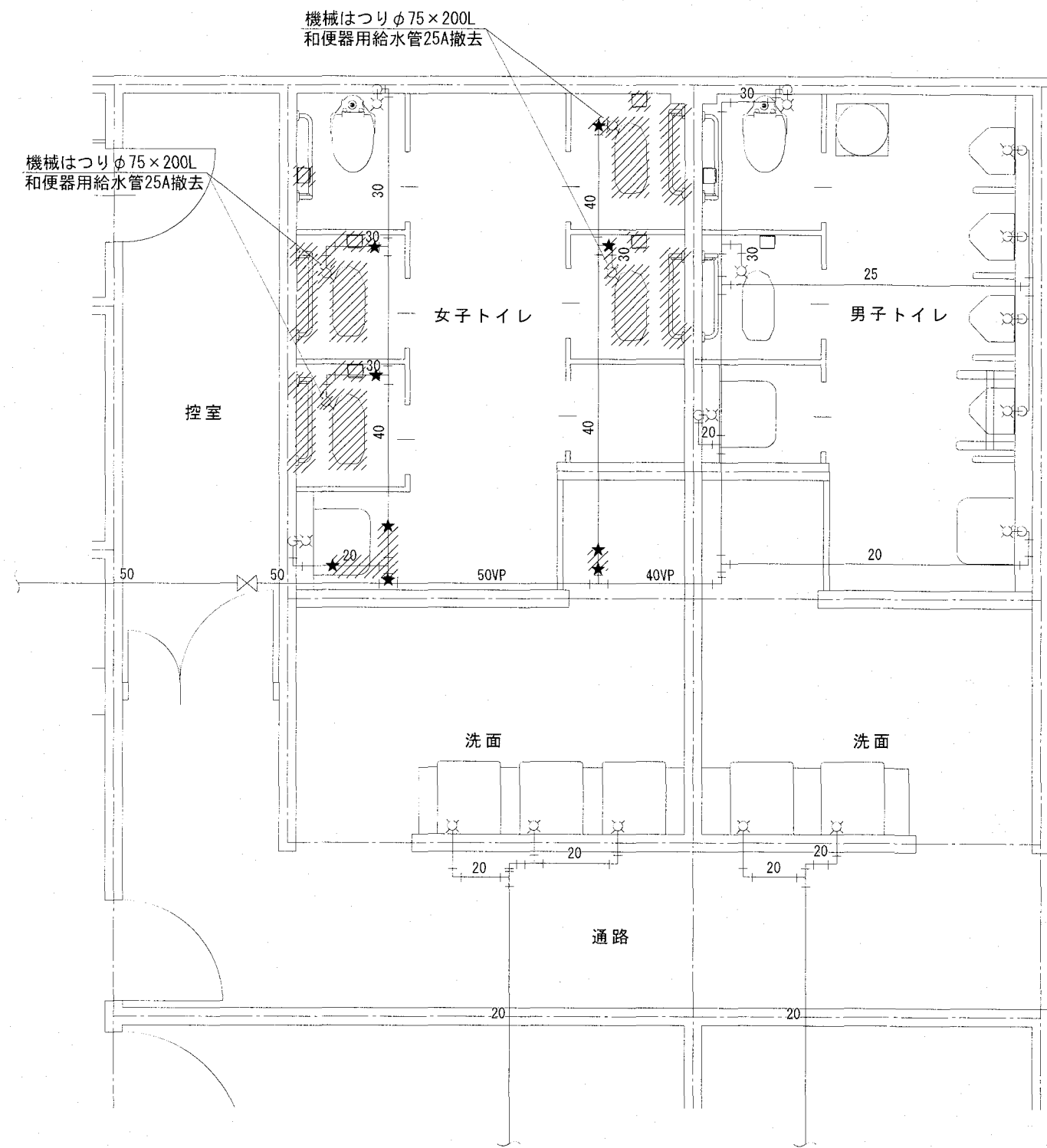
位置図

工事概要

- ・トイレ内の和便器を洋式化するもの。
- ・給水配管用ホ-ル弁2箇所を設置する際は断水作業を伴うため、施設が休館の水曜日もしくは祝日のいずれか1日で施工すること。
- ・1月14日～1月28日の間で現場の施工を完了させること。

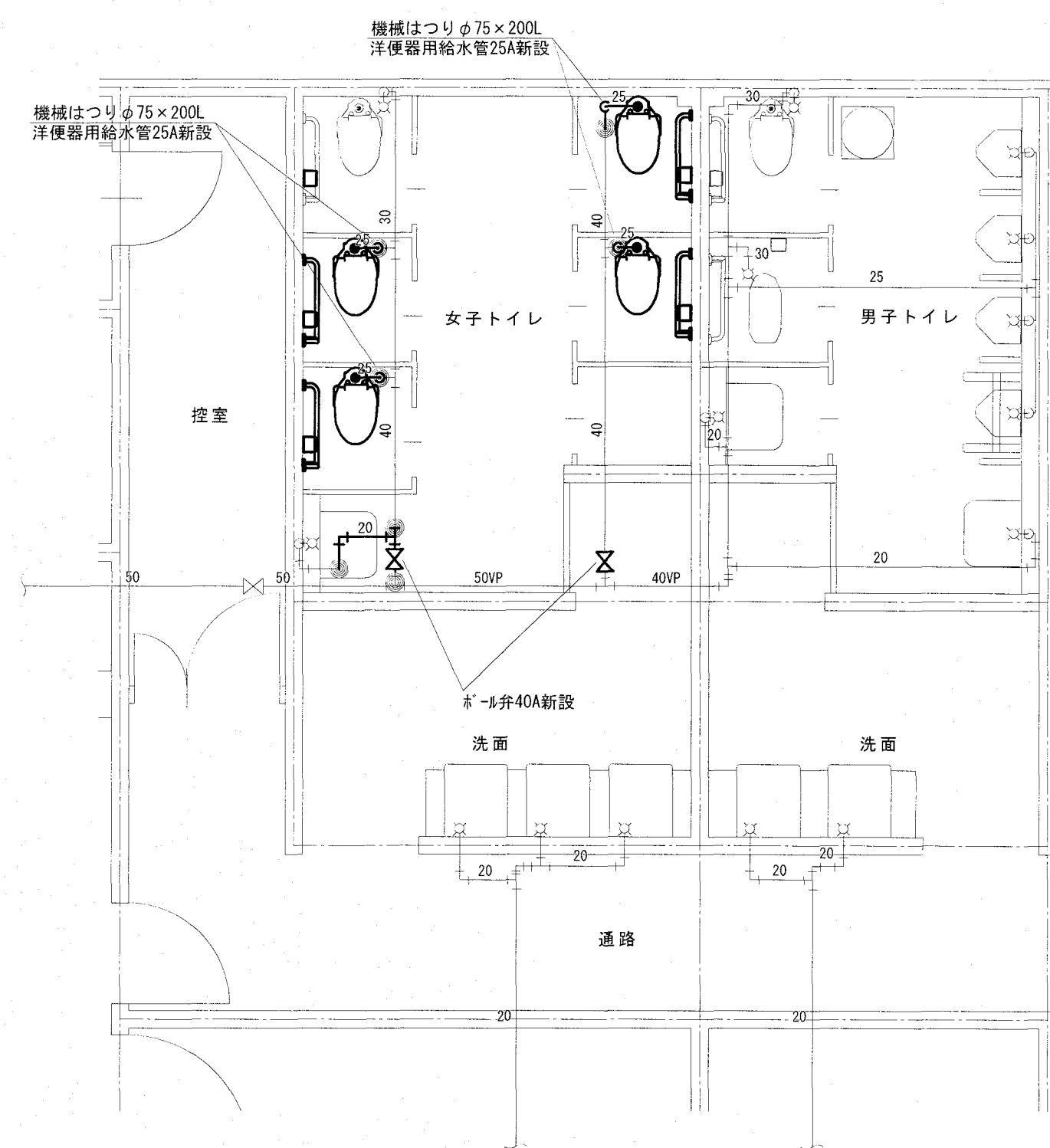
* 実質工期は1.5カ月とする。

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		弥右衛門ふれあいセンタートイレ改修機械設備工事	岡本	戸田	中村	中村	M-03
		図面名	縮尺	作図	2024年11月	日	
		附近見取図・位置図	—				



平面図 (改修前)

—	硬質ポリ塩化ビニル管 VP
★	配管切断箇所を示す



平面図 (改修後)

—	硬質ポリ塩化ビニル管 VP
—	水道用硬質塩化ビニルインナー鋼管 SGP-VD
●	配管分岐

【撤去・取外し再設置】衛生器具表			
名称	品番	女子トイレ	備考
和風大便器	C755F TV750BR	4	和洋リフォーム工法にて改修 ※床面はつりは既存タイル目地に 合わせてカッター切りすること。 ※床給水FV撤去
紙巻器		5	撤去
L型手摺		4	撤去

※トイレ・スにおける内開きから外開きの改修は別途建築工事
 ※温便座用電源は別途電気工事
 ※床給水FVの立上り配管については撤去

【新設】衛生器具リスト				
名称	電源	TOTO品番	LIXIL品番	女子トイレ
FV式洋風便器 (リモデルタイプ)	AC100V	CFS494MNHNS	C-P25H CF-T7114A CF-200S CF-18ALJ	4
レバー式FV (床給) 温便座		TCF116 T56PH HP4307	CF-103BB CF-115-1 CF-115-2	5
紙巻器		YH117	CF-32H	5
L型手摺 (樹脂被覆)		T112CL9	KF-920AE70D12J	4

※和洋リフォーム工法にて施工した床のモザイク面には床タイル貼り (30mm角) を施すこと。
 ※既設床給水FVの立上り配管撤去跡についてはモザイクで穴埋め後、床タイル張り (30mm角) を施すこと。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	弥右衛門ふれあいセンタートイレ改修機械設備工事	係長	岡本	課長補佐	戸田	課長	中村	図面番号	M-04
図面名	1階平面図 (改修前・改修後)	縮尺	1 / 50	作図	2024年11月	日			